

近世上方歌舞伎と堺

【佛教大学研究叢書14】

齊藤利彦 著

2012年2月刊行予定

A5判・368頁（カラー口絵2頁）／定価6,615円（税込）ISBN978-4-7842-1608-6

◎本書は、従来より盛んである元禄期を中心とした近世上方歌舞伎研究から、少し時代を移した元禄期以降の展開、特に上方歌舞伎が特質を大きく転換した化政期から幕末期の実態を究明する。さらに上方歌舞伎の地域的展開や興行史的検討という観点についても考察するが、こうした課題に取り組むうえで重要な興行地として、堺を取り上げる。

◎堺における歌舞伎興行の全貌を解明することで、京・大阪の興行、さらには大芝居、中々芝居の役者たちの動向をも照射し、上方歌舞伎の地域的展開の一端を明らかにした。

内容目次

❶ 「興行地」堺の成立と定芝居

- 1 定芝居官許と「興行地」堺の成立
- 2 定芝居の興行機構と規模
- 3 定芝居の定員数・観客人口
- 4 釜町芝居から大寺芝居へ
- 5 戎嶋芝居の移転と宿院芝居の誕生

❷ 近世中期釜町芝居の規模と構造

- 1 享保期「釜町芝居絵図」「戎嶋芝居絵図」について
 - 2 享保期釜町芝居の規模と構造
- 付節 近世中期戎嶋芝居の内部構造

❸ 化政期大寺芝居の興行状況

- 1 興行状況について
- 2 名代と座本
- 3 上方役者と大寺芝居

❹ 天保改革令と堺の歌舞伎興行

- 1 天保改革と芸能取り締まりの開始
- 2 天保十三年七月触の発布
- 3 七月触と堺奉行の見解・対応
- 4 堺奉行の伺書に対する幕府の対応
- 5 事実上の興行解禁

❺ 天保改革後の堺と芸能興行

- 1 新地南北両芝居の盛況と宮地芝居再開許可口達の発布
- 2 文久二年「町目附御用書類綴」をめぐって

❻ 文久期堺の大寺芝居と説教讀語名代下付交渉

- 1 大寺芝居の説教讀語名代下付依頼
- 2 堺奉行所との交渉と説教讀語名代

❼ 二代目中村富十郎と堺

- 1 堺と富十郎
- 2 天保改革の芸能取り締まりと富十郎
- 3 三カ国構追放と富十郎来堺時期
- 4 その後の富十郎

付論 堺市史編纂と二代目中村富十郎ゆかりの品々

- 1 『堺市史』編纂と二代目中村富十郎関係調査
- 2 『史料探訪目録』と「富十郎遺屋寄託証文」
- 3 その他の富十郎関係品

❽ 興行地堺と観客

- 1 堺と最前連中
- 2 講による観劇
- 3 堺の定芝居と観劇料金
- 4 堺の木戸札と芝居茶屋
- 5 堺奉行所と観客

補論一 近世堺と助成興行

- 1 助成勸進相換と堺の人びと
- 2 文政九年勸進能木戸札配当をめぐって

❾ 近世堺芝居番付考

- 1 堺市立中央図書館蔵芝居番付とその現状について
- 2 中央図書館蔵芝居番付の来歴
- 3 「富十郎番付」と記載情報
- 4 財団法人阪急学園池田文庫所蔵近世堺の芝居番付について
- 5 『開口神社史料』所収芝居番付の年代について

補論二 堺市立中央図書館所蔵芝居番付（「富十郎番付」）目録

さいとう・としひこ...1971年兵庫県生。佛教大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得満期退学、博士（文学）。日本文化史、日本芸能史専攻。佛教大学アジア宗教文化情報研究所、同宗教文化ミュージアムポストドクターを経て、現在、佛教大学宗教文化ミュージアム芸員。主な著書・共著に『近世堺と歌舞伎』（大阪公立大学共同出版会、2009年）、『日本芸能の環境』（共著、京都造形芸術大学、2004年）、『京の歳時記 今むかし』（共著、平凡社、2006年）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		（京都 取引コード 3402）	
冊数	冊	近世上方歌舞伎と堺（佛教大学研究叢書14）		本体6,300円（税別）ISBN978-4-7842-1608-6	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
					書店番線印

一八世紀日本の文化状況と国際環境

笠谷和比古編

日本の18世紀社会は、儒学・本草学・博物学・蘭学等各分野において多くの成果を生み出し、近代化に多大な影響を与えた。それはいかにして形成され、西洋世界までふくめたグローバルな環境下で、いかに影響を受けつつ独自の展開を示したか。多角的にアプローチした国際日本文化研究センターでの共同研究の成果23篇。

▶A5判・582頁／定価8,925円 ISBN978-4-7842-1580-5

祭礼と芸能の文化史

園田稔・福原敏男編

神社史料研究会叢書Ⅲ

神社・神道研究のみならず、地域史・政治史・社会経済史・文化史、さらに文学・芸能・音楽・民俗ほか幅広い分野の研究に資するという視点で神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究結果から、神社を祭場・舞台として繰り広げられる祭礼と芸能を特集。

▶A5判・300頁／定価6,825円 ISBN4-7842-1159-4

※寛永文化のネットワーク 『隔莫記』の世界

冷泉為人監修／岡佳子・岩間香編

『隔莫記』を通して近世文化のルネサンスと呼ばれる寛永文化の華やかな展開を重層的にとりあげる。3テーマに各10篇ずつ収録。カラー24頁のほか挿図多数。【目次】ひと・つどう 大工頭中井正知と近世京都の復興 ほか あそびと場 遊興空間から見た寛永期京都の空間構成 ほか もの・かたる 狩野探幽と相国寺蔵「花鳥図」衝立 ほか

▶B5判変・280頁／定価3,990円 ISBN4-7842-0945-X

祈りの文化 大津絵模様・絵馬模様

信多純一著

江戸時代から現在まで、近江大津迫分にて作られ、手軽な土産として全国津々浦々の人々に愛された民画・大津絵。その多彩に綾なす信仰、祈り、教訓、そして遊びの面々は、多くの人々の想念の数々を端的に映し出すものである一その起源・絵馬との共通点・面題の意味など新考察を加え、多くの図版をあげて解説した全大津絵の事典。

▶B5判・178頁／定価3,675円 ISBN978-4-7842-1425-9

社家文事の地域史

棚町知彌・橋本政宣編

神社史料研究会叢書Ⅳ

神社史料の有効活用・研究の深化普及を目的として結成された神社史料研究会の研究結果から、諏訪・伊勢・北野各神社の社家における和歌・連歌等の文化活動に焦点を置いて、その歴史的意義と実態をさぐる10篇を収録。【執筆者】井上敏幸／神作研一／川平敏文／吉良史明／加藤弓枝／棚町知彌／菊地明範／橋本政宣／入口敦志

▶A5判・340頁／定価7,875円 ISBN4-7842-1257-4

※近世の学びと遊び

竹下喜久男著

佛教大学鷹陵文化叢書10

18世紀以降、学びの場は地方にも広がり、遊学熱の高まりとともに、城下町や京・大坂・江戸への遊学生を通して、多様な学芸情報が各地へもたらされることになった。学び・遊びの諸側面を地域との関わりを考慮しながら身近な生活圏内に結実したさまざまな文化を明かす。

▶46判・420頁／定価2,625円 ISBN4-7842-1184-5

※花洛のモード きものの時代

京都国立博物館編

桃山から江戸時代の「きもの」に焦点をあて、小袖・打掛・胴服・羽織・具足下着・振袖・帷子などから笄・カンザシ・髪形、さらに肖像画・洛中洛外図・屏風などに描かれたモードもふくめて全225点をオールカラーで収録。「今用御ひいなかた」(翻刻)と「御用雛形帳」の調査一覧表なども併載。

▶A4判・550頁／定価26,250円 ISBN4-7842-1072-5

朝鮮通信使の研究

李元植著

江戸時代、日本と朝鮮の善隣外交において、その根幹をなしていた朝鮮通信使一彼らが訪日して果たした重要な役割を、政治外交と文化交流の両側面から捉える。数多くの貴重な文獻・史料を検証し、交歓の実態を明らかにすると同時に、両国文化の異同・相互の認識と理解、そして筆談唱和のもつ意義とその影響について究明する。

▶A5判・736頁／定価15,750円 ISBN4-7842-0863-1

※見世物研究

朝倉無聲著

明治以降、芸術になれずに演劇から転落していった見世物をあまたの文獻の中から拾い上げ、歴史的視野と分類の体系を与えた画期的な業績。香具師と芸能との関わり方における芸能の社会性、庶民の娯楽性、盛り場や辻や寺社の境内や河原が果たしてきた意義、見世物小屋自体が持つ「遊び小屋」の幻想性など照射した昭和3年版の復刻。

▶A5判・408頁／定価7,140円 ISBN4-7842-0684-1

※風俗絵画の文化学 都市をうつすメディア

松本郁代・出光佐千子編

中世から近世における風俗絵画のメディア性に着目し、そこに描かれなくなったものの持つ意味や享受者の視点、都の社会における聖と俗の姿、風俗絵画に表された芝居空間や行事のかたちが年代とともにどのように姿を変えたのかなど様々な視点からアプローチする。

▶A5判・368頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1469-3

松花堂昭乗と瀧本流の展開

山口恭子著

近世初期、寛永文化の一翼を担った松花堂昭乗の書は近世の書文化を席卷する。昭乗と瀧本流の書について造型的な面のみならず、昭乗の著述した文芸作品、瀧本流の法帖など、文獻資料や版本に対する細やかな検討を行うことにより、近世の書道史、出版史、文化史など広範な研究分野に新しい知見を提供する。

▶A5判・356頁／定価9,030円 ISBN978-4-7842-1559-1

※江戸時代の図書流通

長友千代治著

佛教大学鷹陵文化叢書7

江戸時代には、京・大坂・江戸を中心とした出版文化の隆盛にともなって、広汎な図書流通がみられるようになった。版元・本屋・貸本屋と読者を結ぶさまざまなルート、さらに実用書の出版や宣伝方法など、豊富な図版(130点余)を通して平易に明かす。

▶46判・324頁／定価2,310円 ISBN4-7842-1119-5

能勢朝次著作集 [全10巻]

能勢朝次著作集編集委員会編

近世の俳諧に始まり和歌・連歌に及び、遂に中世能楽の源流を究め能楽論の系譜を解析、名著『能楽源流考』を著した博士の全貌を窺う。能勢学の集大成。【構成】第1巻 国文学研究／第2巻 中世文学研究／第3巻 近世和歌研究／第4～6巻 能楽研究(一～三)／第7巻 連歌研究／第8巻 連歌俳諧研究／第9・10巻 俳諧研究(一・二)

▶A5判・平均450頁／揃定価60,795円

天神祭 火と水の都市祭礼

大阪天満宮文化研究所編

平成14年の菅原道真公1100年祭を記念して、日本三大祭りのひとつである「火と水」に彩られた天神祭の歴史とすがたを豊富な図版と8篇の論考で多面的に明かす。カラー図版には、天神祭図巻(吉川進)の全巻(初公開)のほか関連図版を多数収録。

▶B5判・200頁／定価2,730円 ISBN4-7842-1092-X

喫煙伝来史の研究

鈴木達也著

喫煙が伝来して400年余となるがその経緯については不明部分も多く、俗説や風説が流布している。本書では、キリシタン史・対外交渉史・奥州の伝来史まで幅広い史料の探索によってタバコ・キセル・種子などの具体的な伝来を明かす。在外の関係図版多数収録。

▶A5判・360頁／定価5,775円 ISBN4-7842-1018-0

織豊期主要人物居所集成

藤井讓治編

織豊期を生きた政治的主要人物の移りゆく居所の情報を編年でまとめた研究者・歴史愛好家必携の書! 政権の中心人物、政権中枢の人物、有力大名、有力武将、僧侶・文化人、公家、政権に関わる女性たち、総勢25名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉の天下統一の道程や戦国武将の動静、同時代人たちの交流を詳細に追える。

▶B5判・476頁／定価7,140円 ISBN978-4-7842-1579-9

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。